

■建築・環境デザイン学科カリキュラムの特色■

■建築・環境デザイン学科のカリキュラム

今日の地球環境のサステナビリティが問われる時代においては、人々が暮らす環境を点検し、自然と共生しつつ多様な生き方を受け止める空間へと再生・再構築するデザインが求められている。建築・環境デザイン学科では、こうした社会の変化をとらえ、生活空間が成り立っている仕組みを理解し、時代が求める新しい空間をデザインする方法を学ぶことを目標として教育・研究・実践を行う。

まちづくり・ランドスケープ、建築・リノベーション、商空間・インテリアの3つのコースがあるが、これらの専門領域を横断的にとらえる基本的な知識や総合的に関連づける考え方、基礎的な表現方法を学びつつ、自分の適性や関心を確認しながら科目を選択し、それぞれの分野の専門性を高めるために必要な知識や技術を深めていく。

また独自に、科目を選択して多様化する社会のニーズに対応する新しい専門家を目指すこともできる。このような柔軟なカリキュラムの構成が建築・環境デザイン学科の大きな特色である。

■ディプロマポリシー（学位授与の方針）

大学卒業生としての基礎的な教養と、都市からインテリアまでの多様な空間スケールを対象とする建築・環境デザインに関する専門性、幅広い視野と知識に基づく実践的総合力と自分の考え方を表現する力を修得し、柔軟な思考力と構想力を養い、社会で活動するために必要な教養とコミュニケーション力及び実践力を有したと認められた者に「学士（芸術工学）」の学位を授与する。

A：基礎的教養

- ①「科学・技術」「社会・歴史」「芸術・文化」に関する幅広い知識、教養を身につける。
- ②建築・環境デザインに関する様々な空間スケールの専門的知識を身につける。
- ③論理的、客観的、複眼的、俯瞰的に思考できる力を身につける。

B：コミュニケーション力

- ①日本語の読解力、語彙力、文章構成力などの読み書きと、表現する力を身につける。
- ②特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる力を身につける。
- ③他人とのディスカッションを適切に行うことができる能力、自分の考えを文章、図表、描画などによって適切に伝えるためのスキルを身につける。

C：専門的技能

- ①デザインのプロセスにおいて、描画、作図、モデリング等のスキルを身につける。
- ②デザインのプロセスにおいて、リサーチやマスタープランの作成を適切に行う力を身につける。
- ③文献やインターネット上の情報を適切に使用した学習方法やリサーチ手法を身につける。

D：汎用的能力

- ①実現性の高いデザイン案を構築する力、それを適切な方法で表現するスキルを身につける。
- ②グループによる創作活動やプロジェクトを円滑にこなす協調性を身につける。
- ③デザインのプロセスにおいて、様々なスケールによる思考を取り入れて統合する能力を身につける。

E：社会的対応力

- ①デザインのプロセスにおいて、時代における社会情勢を察知し、社会的意義のある提案をできる能力を身につける。
- ②グループによる創作活動やプロジェクトにおいてリーダーシップをとる力を身につける。
- ③社会的責任感、自己管理力のもとに、デザイン、アート分野の発展に寄与することができる力を身につける。

■カリキュラムポリシー

建築・環境デザイン学科では、人々の営みと地域空間の変容を受けとめ持続可能な環境を実現するために、住まいや商業環境から都市・地域スケールまで、多様な空間（環境）の創出・再生デザインのための基礎的知識を学び、リサーチからデザインを展開する力を養う。また、教育目標達成のため、講義と実習・演習を有機的に関連づけた実践的なカリキュラムを編成する。

建築・環境デザインを構成する「まちづくり・ランドスケープ」「建築・リノベーション」「商空間・インテリア」の各分野（コース）に共通する専門基礎の習得から、各分野のデザインの考え方を学ぶことで相互の関係を理解しつつ専門性を高めるようカリキュラムを編成し、実際のデザイン現場で必要とされる理論と応用力を身につける。その際、プロジェクトへの参加、最先端の社会課題やデザインの動向を学ぶ機会を提供することにより、知識の幅を広げ、実践力を高める。

- ①1年次では、建築・環境デザインの対象の広がりや専門基礎を学ぶ。
- ②2年次では、各分野の基礎となる理論とデザインの考え方を学び、各分野に共通するデザイン手法の基礎を実習により学ぶと共に、コミュニケーション力とプレゼンテーション力を養う。
- ③3年次では、各分野の専門知識の習得とあわせて実習においてデザイン手法を学ぶと共に、リサーチとデザインをつなぐ力、創造的構想力と応用力を高める。
- ④4年次では、卒業研究において自らの問題意識に基づいてテーマを設定し、これまで学んできた知識と専門的手法及び構想力を総合的に実践する卒業論文と卒業制作を行う。